

《担当者名》志水 朱 tantan@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

介護の「質」が大きく問われている状況の中で、専門職としての基本的な考え方や姿勢の根幹となる。新しい介護の考え方である介護を必要とする人の生活を支える意義や実践について、自分達の生活に照らし合わせて考えていく。

【学修目標】

- 介護を必要とする人の理解を多面的にとらえることができる。
- 介護を必要とする人の生活を支える仕組みについて理解する。
- 多職種との連携について理解することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	介護を必要とする人の理解	生活の個別性と多様性を理解することができる。	志水
2	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活 高齢者の生活の個別性と多様性を理解することができる。	志水
3	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活 生活のニーズや生活を支える基盤について理化することができる。	志水
4	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活 家族、地域とのかかわりについて理解することができる。	志水
5	介護を必要とする人の理解	高齢者の生活 働くことの意義と地域活動について理解することができる。	志水
6	介護を必要とする人の理解	障害者の生活 障害者の生活の個別性と多様性を理解することができる。	志水
7	介護を必要とする人の理解	障害者の生活 生活のニーズや生活を支える基盤について理化することができる。	志水
8	介護を必要とする人の理解	障害者の生活 家族、地域とのかかわりについて理解することができる。	志水
9	介護を必要とする人の理解	障害者の生活 働くことの意義と地域活動について理解することができる。	志水
10	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活 積雪地域の生活特性について理解することができる。	志水
11	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活 積雪地域と身体面との関係について理解することができる。	志水
12	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活 積雪地域と心理面との関係について理解することができる。	志水
13	介護を必要とする人の理解	積雪地域に暮らす高齢者、障害者の生活 事例をもとに積雪地域の生活課題と制度について理解することができる。	志水

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	介護を必要とする人の理解	家族介護者の理解と支援 家族が介護することについて理解することができる。	志水
15	介護を必要とする人の理解	家族介護者の理解と支援 家族介護者を支える支援の在り方と家族介護者の会の活動について理解することができる。	志水
16	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活を支える仕組み 介護を必要とする人が暮らす地域の理解と連携の意義について理解することができる。	志水
17	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活を支える仕組み ケアマネジメントについて理解することができる。	志水
18	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて理解することができる。	志水
19	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて事例を使い実際に理解することができる。	志水
20	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 介護を必要とする人の生活の拠点について理解できる。(施設)	志水
21	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 介護を必要とする人の生活の拠点について理解できる。(在宅)	志水
22	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 介護保険サービスについて理解することができる。	志水
23	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	介護を必要とする人の生活の場とフォーマルな支援の活用 障害福祉サービスについて理解することができる。	志水
24	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	インフォーマルな支援の活用 インフォーマルサポートの役割について理解することができる。	志水
25	介護を必要とする人の生活を支える仕組み	インフォーマルな支援の活用 事例をもとにインフォーマルサービスの実態を理解することができる。	志水
26	協働する多職種の機能と役割	多職種の役割と専門性を理解することができる。 医療・保険の役割と専門性について理解することができる。 福祉職の役割と専門性について理解することができる。	志水
27	協働する多職種の機能と役割	多職種の役割と専門性を理解することができる。 栄養・調理職の役割と専門性について理解することができる。 その他の専門職の役割と専門性について理解することができる。	志水
28	協働する多職種の機能と役割	多職種連携の意義と課題について理解することができる。	志水
29	協働する多職種の機能と役割	チームアプローチについて事例を通し理解することができる。(施設)	志水
30	協働する多職種の機能と役割	チームアプローチについて事例を通し理解することができる。(在宅)	志水

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業前の小テスト60%

筆記試験40%

【教科書】

介護福祉士養成講座編集委員会編『最新介護福祉士養成講座 介護の基本 第2版』中央法規

【備考】

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護の基本」に該当する。

【学修の準備】

予習は、新聞・ニュースなどによく目を通し、介護問題について理解しておくこと（30分）。

授業前に小テストを行うので、教科書をよく読み、基本的事項について理解すること（60分）。

復習は、講義を受けて視点を変えて社会の事象を考え、理解すること（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4

【実務経験】

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。